

無所属市民派 西東京市議会議員



森てるおの なんでもリポート 第4号

2001年9月発行（隔月発行）

定期購読料：年間1,000円（送料含む）

編集：森てるお事務所 発行：森てるおと市民の目

プラスチックごみ焼却説明会 ――結論を押しつけるだけの「説明」に終始

8月末に開かれた説明会に出ていて大変気になったのは、焼却という結論をただ闇雲に押し付けようとしている行政の姿でした。行政が方針を持っていけないとは言わないが、ことは市民の健康や施策への協力意欲に関わる問題なのだから、正確で、公平・客観的な説明をするべきです。

説明会資料では、一昨年6月の焼却中止以来、日の出の二ツ塚最終処分場への持ち込み量がいかに増加したかが協調されて、広域処分場組合と構成各市からその事を強く批判されていると説明されていました。批判されて当然だと私は思います。2年前にそのことを考えていなかったとしたらあまりにも無責任です。その結果、叱られるので燃やしますというのなら2年前に逆戻り、2年間何も考えていなかったことを白状しているだけです。とても燃やす理由にはなりません。

また、国基準を達成できる新しい炉が出来たから燃やせると説明されました。しかし国は「燃やさないで処理をし、やむなく燃やす場合は基準内で」という方針のもとに容器包装リサイクル法（容り法）やダイオキシン規制法を制定しているのであって、基準値以内ならどんどん燃やしていいという方針をとってはいません。ダイオキシンの危険性を考えれば当然、燃やすことは極力慎重にするべきです。容り法については実施の困難性をひたすら強調するばかりで可能性の追求を怠ってきました。容り法に決められた処理方法の説明が正しくなされなかったのは、それらを検討しなかったことを示しています。

「新炉で燃やす」それだけしか考えていなかったのでしょうか。それに都合のいい資料だけが提供され説明されていました。その中に間違った説明もありました。

行政は市民に正確な情報を提供し、市民に判断を求めるべきです。

森てるおの活動記録（2001年7～8月）

主なものを掲載しています。

- | | | | |
|------|---------------------|------|--------------------|
| 7月5日 | インターン候補者面接 | 8月1日 | 廃プラ焼却問題議員声明記者会見 |
| 7日 | スタッフ会議 | 3日 | 総務委員会 |
| 9日 | 議会報編集委員会 | 4日 | スタッフ会議 |
| 13日 | 六都科学館組合議会 | 14日 | 廃プラ焼却問題駅頭宣伝（～15日） |
| 15日 | 36m道路の会総会 | 20日 | 議会運営委員会 |
| 18日 | 三多摩議員ネット合宿（～19日） | | 廃プラ焼却説明会出席（～29日） |
| 21日 | 開かれた議会をめざす会 | 24日 | 森てるおと語る会（田無・26日保谷） |
| 24日 | ごみ問題議員打ち合わせ | 29日 | 全員協議会 |
| 27日 | 下保谷雑木林市長申し入れ | 30日 | 全員協議会（六都科学館組合） |
| 31日 | 駅頭宣伝（～8/22）・議会運営委員会 | 31日 | 公会計改革会議シンポジウム |

3人目のインターン生を迎えました

「市民と政治家をつなぐ」ことを目標に活動する「I-CAS」(田村広行代表)から3人目のインターン生として田中庸介さんを迎えました。中央大学文学部英米文学専攻の4年次生で、「議員と地域の人との関わり合いに関心がある」とのことで、数多くの議員の中から森てるおに関心を持ってくれました。

暑い最中、精力的に拡声器のポスティングや駅頭宣伝を担ってくれるばかりでなく、コンサルティング業界に就職したいという田中さんの知識、経験から、批判も含めて率直な意見を提言してくれています。

次回にはレポートも提出してくれることになっているので、楽しみに。



森てるおへの
ご意見はいつでも
お気軽に！

TEL: 50-7147

FAX: 50-7148



先生なんて呼ばないで！

このごろは「先生と呼ばないで！」という私のお願いもだいぶ浸透してきた。だけど、まだたまには呼ばれることがある。その都度、やめてほしいとお願いしてしているのだが、初対面の人も多いから、なかなかおしまいにならない。

議員になったばかりの頃、そう呼んだ顔見知りの市職員に「先生なんて言ったらおこるよ！」と言ったら、「先生と呼ばないと怒る人もいる」と教えられた。本当に怒る議員がいるかどうか私にはわからないが、呼ぶ側してみれば「とりあえず先生と呼んでおけば無難だ」と思うのだろう。呼ばれた側も悪い気がしないのかもしれない。私なんかは居心地が悪くなってしまう。

呼ばれる側の私としては「さん」付けくらいにしてもらいたいのだが、相手してみれば呼び方には苦勞するようだ。旧知の職員にまで「議員」と呼ばれたりしてがっかりしてしまう。

「たかが呼び方くらいで目くじらをたてて」と思う方も多いのではないか。しかし、呼び方は人と人との関係を固定化してしまうことも事実で、対等な関係が必要な場面では好ましくない影響しかもたらさないと思う。学校などでは先生と呼び合っている場面にも出くわすことがあるが、普通はお互いがお互いを認め合うためにはマイナスではない。

森てるおはアメリカの軍事報復と日本の加担に反対します

去る9月11日に発生したアメリカでの同時多発テロ事件に対して、深い憤りを覚えています。このテロ行為の犠牲となられた方々に深い哀悼の意を捧げます。

このようなことが再び起こらないように、すべての人々が努力をするのは当然のことです。ただ、アメリカがこのテロへの報復をいち早く表明し、軍事攻撃を準備していることについては大きな危惧を感じています。日本がこれに追随することは許されません。

この事件が犯罪であれば容疑者とされた者は逮捕し、法の裁きを受けさせるべきであり、「殺害」することまで目指すアメリカに同調すべきではありません。日本政府は、アメリカに自制を求めるとともに、戦争行為に同調せず、テロ根絶のために主体的に努力することを求めます。

森てるおは、三多摩議員ネットワークを通じて、小泉純一郎総理大臣、綿貫民輔衆議院議長、井上裕参議院議長、田中真紀子外務大臣に「日本政府は米国政府に対し「報復戦争」ではなく平和的な手段によって問題の解決を図るよう申し入れることを求める要望書」を提出しました。